



黄と緑

2019年秋号 (No. 110 / 10月27日発行)
ボーイスカウト東京大田第6団
(東京都大田区田園調布 3-43-1 カトリック田園調布教会内)
URL <http://www.bst-ohata6.org>

つばさ地区創立 10 周年記念キャンプリー

つばさ地区は 2009 年に東京連盟の地区再編の一環で当時の大田地区と品川地区が統合されて誕生しました。現在は旧大田地区の 12 個団と旧品川地区の 4 個団、合計 16 個団で活動しています。

その創立10周年を記念して8月15日～18日に静岡県伊豆の国市のMOA研修センターに約300名のスカウト、リーダーが集まりキャンプリーが行われました。大田第6団からはCS隊、BS隊のスカウト16名とリーダー8名が参加しました。



続けてこそボーイスカウト - その2

ビーバー隊 田中孝雄

前回の「黄と緑」でボーイスカウト活動は続けることが重要であり、続けることにより、他の活動では得ることが出来ない経験、感動が得られますよ。ですから、続けましょうね。ということをお願いしたつもりだったのですが、ご理解いただけただけでしょうか。

さて、今回は、続けてこそボーイスカウトリーダー編をお届けします。

私がリーダーとなったのは・・・(さて、何年前だったか？ 多分10年ぐらい前だったかな)カブ隊の副長が初めでした。

先輩スカウトから、「ちょっと、来てみない」とお誘いを受け、のこのこ出かけて来て捕まったのです。ところが、捕まってみるとこれがなかなか面白い、リーダーとして見るボーイスカウト活動は新鮮で魅力的でした。

そして、何よりもカブスカウトはかわいらしかったのです。当時私は、スカウトから「フランケン」と呼ばれていました。彼らから見れば体も大きい私が「ガオーッ！」と叫び追っかけてこの鬼をする姿は「フランケンシュタイン」を連想させたのでしょう。「フランケン」の鬼ごっこは大変楽しい思い出です。

しかし、リーダーたる者鬼ごっこばかりして遊んでいるわけにはいきません。リーダーとして責任をもってスカウトを指導しなければなりません。

指導においてスカウト経験は役に立ちますが、それだけでは不十分です。そこで各種の講習会に参加しました。3泊4日の山中野営場、また、4泊5日の那須野営場での講習会は他団の指導者とキャンプ生活をしながら指導者としてのスキルを身につけることが出来ました。また、ボーイスカウト活動に情熱を注ぐ多くの友人を作ることができました。彼らとは現在でも交流があり、ジャンボリー会場ではったり会ったり、「同期会」を開いたりして旧交を温めています。

リーダーとしてスカウト活動を続けて来たことにより経験、感動、友人を得ることが出来ました。これは私の貴重な財産であると思っています。

このような財産を与えてくれたボーイスカウト活動に感謝しています。

私に「フランケン」というあだ名をつけてくれた、かつてかわいかったカブスカウトは、皆私より大きく成長しています。彼らが私の後を引き継いでくれる日が早く来ることを願っています。

2019 年度 カブ隊夏キャンプ

カブ隊 隊長 村上 芳道

今回は、8月15日から8月18日に開催したカブ隊夏キャンプについて紹介します。今年度は、当団所属のつばさ地区創立10周年記念キャンプを兼ねた夏キャンプであり、8月15日の集合から8月16日午後3時まで、及び8月18日午前10時から8月18日夕方の解散までを大田6団キャンプ、それ以外をつばさ地区合同キャンプとして活動しました。

大田6団キャンプでは、限られた活動時間の中でありつつも、一年間の活動の総仕上げとして、ロープを使ったゲーム【なわ結び】、2019年度活動を振り返るスタンプ【表現】、星座ゲーム【天文学者】、見知らぬ地での追跡ハイク【ハイカー】(チェックポイントではキムスゲーム【観察】、のこぎりを使う丸太切り【工作】)、自己紹介カード作り【友情】、家族へのはがき【感謝】、組対抗のドッチビー【チームスポーツ選手】、そば打ち体験【野外料理】を行いました。習熟度の差はあるものの、各スカウトは課程別に求められる力量はクリアしていて一安心しました。ただし、本号掲載の「カブスカウト夏キャンプ感想文」を拝読いただけるとわかりますが、スカウトの一番印象に残ったプログラムは「ドッチビー」だったようです・・・。

キャンプ2日目の午後から、他団も続々とキャンプ地入りし、つばさ地区スカウトと指導者総勢400名近い人数となりました。2019年度の大田6団カブ隊スカウト全員にとって、この人数でのキャンプは初めての経験です。更に、大田3団と大田17団と相部屋舎営。内弁慶気味の大田6団カブ隊スカウトは、果たしてうまくやっつけられるのか心配していましたが、文句は口にしつつも、スカウト達は他団と友達を作ったようです。大田6団内だけではなく、つばさ地区に渡って知り合いの輪を広げていくことは、今後の彼らの人的財産になってくれることでしょう。

つばさ地区主催のプログラム計画はよく練られており、16日午後3時からの開会式を皮切りに、全体でのアイスブレイクゲーム、つばさ地区カブスカウト約100名全員でのナイトプログラム(伝説のナイトレスキュー)、翌17日はスカウト全員が所属隊関係なく29グループに分かれてのポイントラリー(大田6団松村BS/田中孝雄VBS隊長引率が率いる第13グループが総合優勝!)、友情パーティーと大キャンプファイヤー、最終日18日朝のつばさ地区カブ隊全員でのモーニングゲーム(大田6団主催!)と閉会式まで、あっという間の3日間でした。この中でも、400名近い人数が参加しての大キャンプファイヤーは、晴天に恵まれた星空の下、言葉では表現し難いほど素晴らしいものでした。参加したスカウトの心に強い印象を残したのではないのでしょうか(指導者のスタンプが一部強烈すぎて、その印象が刻みこまれたスカウトもいるようですが・・・)。

夏キャンプは、毎年恒例ではありますが、カブ隊の一年間の活動の総仕上げです。保護者様におかれましては、スカウトを夏キャンプへ参加させてくださることへのご理解とご支援に、この場をお借りして感謝申し上げます。今後も、カブ隊活動が充実した内容となるよう努めていきたいと思っております。



ー 以下はスカウトの感想文ですが、原文をそのまま電子データ化しています。ー

題名：友達できたよキャンプだほい

1組：村上 けい

三ぱく四日のキャンプの最初はバスの中では楽しくしていましたが、すこし不安な一面もありましたがキャンプ場についていろいろなプログラムをするにつれていろいろな団のいろいろな人といっしょに出会って大田 15 団の人に名しをわたして友達になりました。

また、ポイントラリーは楽しかったけどたぶん最後に登り坂の山道を登っているときにヨにさされてはれてしまいはれたのが大変でした。

三日目の夜にしたキャンプファイヤーでリュウチェル教を信こうしているリーダー(?)がキモイおねえになってなぞの歌をばらまき、さらにぞうの歌を歌いながらスカウトとリーダーをゆうかいし、大田 6 団のカブではおれと照瑛と朔太郎以外は全員ゆうかいされてしまいました。

最後に教会に帰ったときには、みんなのお母さんやお父さんがむかえにきていて、そしリーダーや長野リーダーもむかえにきてくれていてキャンプはよかったなと思いました。

まだ、テントははってないけどいろいろ山道を通り、ほかの団の人にも出会う友達になり、「キャンプ」っていう感じでした。でももう一ヵ月後には月の輪キャンプをしてボーイ隊に上進し、こんどはテントを自分たちではって、自分たちでごはんをつくり、テントの中でねるので、楽しみです。

題名：(なし)

1組：鍵谷 俊

ぼくは、新友が数人もできました。たくさんトラブルがあったけどとてもおもしろいがありました。一日目は朝 5 時に起きました。

他の団と協どうでキャンプをやるので最初はきんちょうしていました。一日目のゲームはドッチビーボールやかけつなひきなどぼくが好きなゲームがたくさんありました。ドッチビーボールでは人をたくさん当てました。とても当てたとき、気持ちがすっきりしました。

かけつなひきでは、走るのが好きなので、全力で走りました。目をつぶってもやい結びが 3 秒ぐらいでできた。夜ほとんどねむれなかったけど平気でした。二日目は 5 時 10 分に起きました。朝ごはんがとてもおいしかったです。ハイキングでは、友達と生物の話をしながら歩きました。たくさん歩いたのでいい運動になりました。二日目はつかれていたの、ぐっすりねむれました。三日目は、他の団と協どうでやるっていうたので、ドキドキしました。最初は無口だったけどだんだん仲良くなりました。みんなと協力してゲームをやれたのでよかったです。キャンプファイヤーではみんなで歌ったりおどったりしたのが楽しかったですが火が消えるとともにさみしくなりました。とても空がきれいで星がよく見えました。帰るときみんながぼくに手をふってくれました。とてもうれしかったです。意外にみんなが仲良くしてくれて大史然を観察できたのがうれしかったです。

題名：楽しかったキャンプ

1組：目代 純之介

ぼくは2度めのキャンプで友だちが12人できました。

ぼくたちでつくっためいしをこうかんしました。

一つめは、キャンプファイアーです。

キャンプファイアーでおどったり音たったりするのがたのしかったです。

二つ目は、スタンプラリーです。スタンプラリーで鼻をつかったり口をつかったり耳をつかったりからだのいろんなとこをきたえました。

また来年もキャンプにさん加したいと思いました。

題名：(なし)

1組：向田 帆

ぼくは、はじめてサマーキャンポリンに行ってみました。さいしょは、あんまりよくわからなかったけど行ってみればすぐわかりました。1日目はそんな多くなかったけど二日目からすぐに人がふえたのでびっくりしました。だから人が多くなったので、荷物がわからなくなりました。だからぼくは、あんまり人がいない所におきました。でも荷物を広げるとやっぱりわからなくなりました。だからわからないようにいろいろくふうをしました。一日目の日は体育かんでいろいろな運動をしました。ぼくは、その中で一番おもしろかったことはドッチビーでした。ドッチビーでは、ボールじゃないのでちょっとやりずかったけどおもしろかったです。とくににげるときがおもしろかったです。それは、フリスビーが前にいくかどっかに行くか、わからなかったからです。だからぼくは、ずーっとしゃがんでいました。ドッチビーがおわるとすごくあせだくで、おふろに入りたくなりました。でもちょうどそのころおふろの時間だったので「やったあー」と思いました。でも30分だったのでちょっと早めにあがらなければなりませんだからぼくは、なれべく早くシャンプーやボディーソープをあらいました。それでなれべく長くおふろにつかいたいなーと思いました。それでおふろに入るとき、ちょっとあつすぎたので、つめたい水をかけてから、おふろに入りました。おふろからあがって、ごはんが始まる時にごはんのすごくいいによいがしました。それで食どうに行くとぼくがすきなのがいっぱいありました。それで全部たべたらちょっと自由自間があって、そのあと夜ねむくなったらすぐ、ぐすりねむれました。

題名：楽しいキャンプ

1組：こじま くのすけ

一日目はごごのかつどうでフリスビーでドッジボールみたいのがとても楽しかった。

おふろでおんせんがすごくあつかった。

よるごはんがとてもおいしかった。たとえばソーセージがとてもおいしかった。

二日目はよるごはんはスープとコロケだった。いちばんおいしかったのはスープでした。だしがきいてとてもおいしかったです。

ナイトプログラムというのが楽しかったです。どうしてかというところだったのでわくわくして楽しかったです。

ひるごはんにうどんがあってとてもおいしそうだった。りゅうはてんぷらがいっていたからです。

まとめはいろんな楽しいけいけんがとれてとても楽しかったです。たとえばナイトプログラムとかです。ついにゴールへみんなできょうりょくしてゴールができたのでとても楽しかったです。すごく楽しかったです。

題名：楽しかったキャンプ

2組：相馬 照瑛

ぼくが、キャンプで楽しかったことは、二つあります。

一つ目は、しゅんの暴そうです。音楽を聞いている時にギターをひくまねをして、頭をぶん回してました。あと、わたるも暴そうしていました。ある意味こわかったです。

二つ目は、キャンプファイヤーです。リュウチェル教の人達がとても変態オネエがきもちわかったです。リュウチェル教が象のしゅうげきが大変でした村上隊長がおそってきましたが、けりをいれてにげてきました。最後はくらやみの中でいもっていました。

そばを食べすぎて、きもちわるくなりました。でもおいしかったです。

次はボーイだけど、このキャンプを生かしたいです。あと、こんどは、飯の量をかんがえて、食べるようにしたいです。本当に楽しいキャンプでした。

題名：最高なキャンプファイヤー

2組 いいづか ゆうせい

僕は、キャンプファイヤーが一番楽しかったです。いろんな隊長やリーダーが炎の前で歌を歌って踊って色々な事をしました。夜、ねる時3団がともうるさくてねむれませんでした。もう少しでしかに上がるのが嬉しいです。またキャンプにさんかしたいです。ホテルの芽生にはコオロギやバッタがたくさんいました。捕えてもすぐに逃げてしまいます。3日目のパーティーの時に、大田6団のやきりんごが美味しかったです。

題名：楽しかったキャンプ

3組 伊豆 朔太郎

ぼくは、このキャンプで楽しかったのは、三つあります。

一つ目は、ポイントラリーです。中でもぼくは弓の達人が楽しかったです。練習では、十メートルとんだけれど、本番では、五メートルしかとびませんでした。とても楽しかったです。

二つ目は、キャンプファイヤーです。中でも楽しかったのは、リュウチェル教のしゃげきです。五人ぐらいのキモイおねえが変なおどりをしました。それ以外にもいろんな歌を歌ったのが楽しかったです。

三つ目は、そば打ちです。そば打ちは、自分の中では三度目です。去年よりも、めんがもちりしておいしかったです。他にも荒めんの方がそば粉が多くてとてももちりしておいしかったです。

次に、大変だったのは、けいが、ポイントラリーのときにブヨにさされてしまったことです。とてもおどろきました。二つ目は、とらのすけとゆうせいとけんかをしたことです。引きはなすのが大変でした。

今年で、カブ隊のキャンプは最だったの、来年は、ボーイ隊のキャンプです。とても楽しみです。テント張りや、料理、火起こしなどがあるので、しっかりと先ばいについていって行きたいです。そして他の団にすごいな、と思わせたいです。

題名：もえてくるキャンプ

3組 飯嶋 巧

一日目のスタントの練習で2組とごうどうしてがさがさのことを発表をするときに木村団長に見てもらったときがはずかしかったです。またよる大田3団の人がうるさかったのによくねむれませんでした。

3日目はたくさん歩いたためつかれました。ただパーティーで大田17団が作ったピザが、最高においしかったです。またハイキングではビーバ隊やボーイ隊の友達ができました。キャンプファイヤーではたくさんの星が見えました。そしてたくさんゲームや歌を歌うことがおもしろかったです。

来年もまた行きたいです。

題名：楽しかった水の国し

4組 みやざわ たもん

一日目は、バスで東京から水の国しに行きその後たいくかんでつなひきをしてまけは、あまりなかったのうれしかったです。

二日目には、ボーイの人たちがマッチをつかって火おこしをしているところを見ました。そのあとにバツタをつかまえました。ちいさくて一センチクライでした。そして大きくて二、三センチクライでした。

三日目には、ひろばで二日目のようにバツタをつかまえました。キャンプファイヤーは、しているきょくが思ったよりかありました。

四日目は、山をくだってそばうちたいけんをしました。

またこんど行きたいです。

Boy Scout Press

2019年秋

三指

今回は夏季キャンプに参加したスカウトの感想文をご紹介します。

ボーイ隊夏季キャンプに参加して

内田康裕

今回初めて他の団と合同のキャンプ、つばさ地区十周年記念キャンポリーに参加しました。台風が来るという予報の中での開催でテントが吹っ飛ばされたり、リュックも濡れ、洋服の替えも濡れたり悪天候に見舞われたキャンプでした。しかし、僕が一番辛いと感じたのは、このようなことではなく炊事です。日常の場合、ガスや水道によりすばやく炊事を行うことができます。ですが、火をつけるために木材集めにかまど作り、水を汲んだりなど、約2時間かけて行いました。

このような事から今回のキャンプでガスや水道などが無い生活の大変さ、また時間になればご飯が出てくる親へのありがたさ、この二つを実感することができました。あと、他の団は、人数が多い事と、それぞれの団のカラー、雰囲気が大田6団と違う等、発見することができ、良い経験になりました。

竿田 元

僕が今回のキャンプに参加した理由は、例年家の冷暖房や屋根、家の伝統のありがたみを知ることができるからだ。今回のキャンプでは今までのキャンプとちがいで、風呂に入ることができたものの、台風や雨などの影響により、今までのキャンプよりも、屋根や床のありがたみをより深く知ることができたと思う。話は変わるが、今回のキャンプは今までのキャンプと違い、他の団のメンバーも居る状態でのキャンプだったため、夜もそこまで静かという事もなく、明かりが他にもあった事が普段のキャンプよりも落ち着きやすい環境だったと思う。また二日目の夜に行われた、合同大キャンプファイヤーや、ライブ(?)、友情パーティーなどの行事に大人数ならではの楽しさがあり、今までのキャンプとは一味違った楽しさがあったと思う。また今回のキャンプでは、立ちかまどの作り方等多くの気付きがあった。よかった。

松村 悠吾

このキャンプで一番感じたことは、他の団との差でした。他の団のボーイスカウトは、中二だけではなく、他の年の人もいて人数が多かったし、班旗もちゃんと作っていて、少し居心地が悪かったです。まあ、班旗は来年は作るそうだし、来年からは下が入ってくるので良いけれど、他にも思ったことがあります。それは、同年代の人達の中に一級や菊章を

取っている人がいたことです。とりあえず僕も早く一級をとりたいです。思うところは色々あったけれど、このキャンプは楽しかったです。お風呂があったことがまず良かったし、キャンプファイヤーもとても楽しかったです。キャンプファイヤーは二回あって、一回目はよく分かっていなく、あまり楽しめなかったけれど、二回目は少し分かってきてとても楽しかったです。合同班は優秀班として表彰されて、嬉しかった。最初は行くか迷ったけれど、キャンプに参加できて良かったと思います。

今後ともボーイ隊の活動にご理解とご協力をお願い致します。

弥栄

隊長 藤本 利一

* ご質問やご要望などございましたら、どのようなことでも構いませんので、藤本までご連絡ください。



富士スカウトとして

V S 隊 竹内 新

小1の時に同じクラスの人から誘われて入ったボーイスカウト、なんで僕が誘われたかわからないしその時はボーイスカウトについてなんも知らなかった。ただ楽しそうだと思って入って11年、スカウトで取得できる一番上の章である富士章をとることができた。自分だけの力ではなく、ボーイスカウトの周りの人の助けがあってこそだと思う。今ではあまりボーイスカウトを知っているという人はあまり多くないし、学校とかでボーイスカウトをやっているという人もめったにいない。もちろんボーイスカウトをやっていることを周りに周知させる必要もないだろうけど、少ないということは少し寂しい面もある。それでも様々な課題をクリアして富士章を獲得できたが、それはボーイスカウトを何より続けてこられたのが一番の要因。11年も続けていればもちろん行きたくない、やりたくないと思うこともあった。惰性で続けてきた時期もあった。でも、ボーイスカウトでしか出来ない経験はあまりにも多すぎる、いて損はない。同じ学年のスカウトが多いことにも恵まれて、共に何かをするのが楽しくて、次第に同輩も減っては行くこともあるけれど、次は先輩や後輩、もっと下のスカウトや大人の人たちと共に何かをしたり話したり、それがあって“非日常”な体験をより楽しめた。何もしてこなかったわけでもないけど、気付いたら富士章がすぐ近くだった。授与式の時に連盟の人から言われたことでもあるが、富士章はとって終わりじゃないと思う。スカウトと共に何か一緒にできたら良いな、と……



追悼

ボーイ隊インストラクターの木村祥高さんが8月31日に亡くなり、9月4日に大聖堂で告別式が行われました。享年41歳。難病と闘いながら長年にわたってリーダー、インストラクターとして当団の活動を支えてくれました。謹んでご冥福をお祈りいたします。(谷岡)

バザーへのお誘い

日時：11月17日（日）10時～2時ごろまで

会場：カトリック田園調布教会

ボーイスカウトでは「焼きそば」を販売します。

☆ お誘い合わせのうえ、ぜひお出かけください ☆

前日の設営、当日の販売や後片付け等のお手伝いもお願いいたします。



世界のスカウトー日本連盟ー東京連盟ーJCCS

《今後の予定》

11月17日	教会バザー	[田園調布教会]
12月16日	クリスマス会	[田園調布教会]
1月11～13日	スキー	[菅平高原]
(予定)		
1月19日	餅つき	[田園調布教会]
2月11日	JCCS B P 祭	[東京カテドラル]

《編集後記》

先日の台風19号では大田区田園調布4、5丁目から世田谷区玉堤1丁目にかけての一帯で丸子川の氾濫のために600戸ほどが最大1mも浸水しました。私自身もかつて40年ほど住んでいたところで、床下浸水したことはありましたが、今回のような状況は記憶にありません。当団のスカウトもこのあたりに住んでいた人がいたと思いますので心配しています。

9月初めの入団・上進式で各隊の指導者が任命、委嘱され新年度の活動が始まっています。保護者の方々にもご協力をお願いいたします。

「黄と緑」の次号は来年1月中旬、お餅つきの日に発行の予定です。(谷岡 記)

(表紙題字：石原 一、 タイトルの「黄」は教会を、「緑」は平和を表しています)